

重要 安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書もお読みください。

■ 点火準備

① 事前にご用意ください（付属品には含まれておりません）

- 木質系ペレット約1kg
- 着火剤
固形またはゼリー状など、炭おこしに使用するもので結構です。
- ライター
- 電源
モバイルバッテリーや電池式充電器など、USBポート(TypeA)を備えているもの。使用中に電源が切れないよう、十分な残量があるかご確認ください。

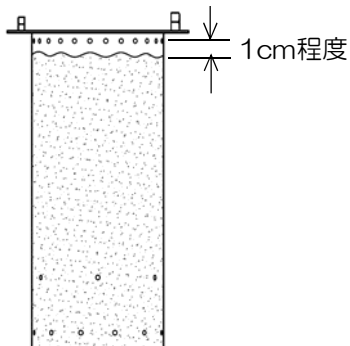


オートパワーオフ機能付きのモバイルバッテリーの場合、使用中に電源供給がカットされる場合がありますので使用できません。

- 耐火性の容器
消火するとき 사용합니다、鉄製のバケツなどで結構です。

② ペレットを入れる

五徳を取り外して燃焼筒にペレットを入れてください。入れる量は燃焼筒上部の穴より1cm下が目安です。



③ ケーブルを接続する

ケーブルボックスからファンケーブルとスイッチケーブルを取り出し、相互に接続したのち電源に接続してください。



ファンケーブル



スイッチケーブル



電源

(例) モバイルバッテリー

■ 点火手順

① 着火剤を入れる

燃焼筒に入れたペレットの中央をくぼませ、着火剤を中に入れてください。使用法は着火剤の取扱説明書をお読みください。



(例) 固形着火剤

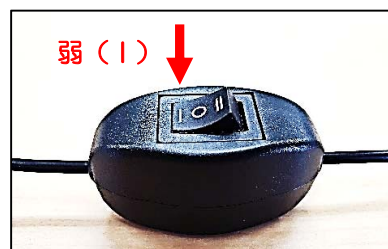
② 着火剤に火を点ける

五徳を取り付けて切換スイッチが『OFF (O)』になっていることを確認し、着火剤に火を点けてください。



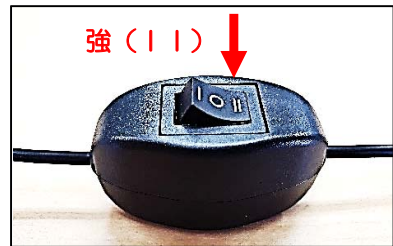
③ 切換スイッチを『弱 (I)』にする

着火剤全体に火が点いたことを確認し、電源を入れて切換スイッチを『弱 (I)』にしてください。



④ 切換スイッチを『強 (II)』にする

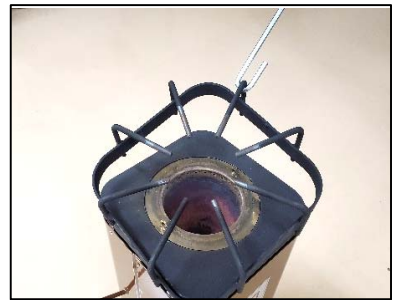
着火剤周囲のペレットに火が点いたことを確認し、切換スイッチを『強 (II)』にしてください。ペレット約1kgで1時間燃焼させることができます。



■ 消火手順

① 五徳を取り外す

消火直後の五徳は大変熱くなっていますので、吊り棒のフック側を五徳にひっかけ、上に引き上げて取り外してください。



② 燃焼筒を取り出す

燃焼筒の大きいナットの穴に吊り棒のねじ側を差し込み、反対側の小さいナットにねじ込んで、ゆっくりと上に引き上げてください。



吊り棒のねじ込みが緩いと脱落する恐れがあります。大変危険ですので、しっかりとねじ込んでください。

③ 灰を取り出す

灰を燃焼筒から鉄製のバケツなどの耐火性の容器に移し替えてください。灰は自治体の分別方法に従い処分してください。



燃焼筒内に燃焼中のペレットが残っているときは、燃焼筒に直接水をかけないでください。火傷などの怪我や燃焼筒が破損する恐れがあります。



燃焼中に取り出した場合など、完全に火が消えていないときは、取り出した灰に水をかけるなどして完全に消火してください。

■ ご使用後

① 本体を冷やす

消火直後で全体がまだ熱い場合は、完全に冷えるまで切換スイッチを『強 (II)』にして送風を続けてください。

② お手入れを行なう

吹きこぼれや煮こぼれしたときは、必ず清掃を行ってください。また、塗装に剥がれがあるときは、錆びやすくなりますので完全に水気を拭き取ったあとに、食用油を薄くぬることで長持ちします。



消火直後は各部が高温になっていますので、冷えてからお手入れを行ってください。



本体上部や五徳の主な塗装目的は、お客様のお手元に渡るまでの錆の発生を防ぐことです。そのため、燃焼中高温になることにより使用後に剥がれることがあります。

■ 異常時の対応

● ゆらゆらした炎となり黒煙が発生している

不完全燃焼している可能性があります。電源の仕様や異常による電力供給の停止、またはファンの故障などが考えられます。すぐに使用を中止して消火作業を行い、原因を取り除いてください。

● 炎が消え白煙が発生している

ファンの停止による消火、または燃焼筒内への水の侵入などが考えられます。すぐに使用を中止して消火作業を行い、原因を取り除いてください。

その他、記載されていない事項については取扱説明書をお読みください。